



# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

今回は駕籠町小学校に来てくださり、ありがとうございます。今まで少ししか知らなかった原爆のことを深く知る貴重な体験となりました。原爆を投下する都市では、京都が推されていただけ、日本人の感情を考えるとという話が印象に残りました。また、原子爆弾はとても重く、池田義三さんの話から想像以上に怖いものだと知りました。人が熱線と衝撃波で消えてなくなり、影だけになってしまうところがい特に怖かったです。さらに、教科書によく出てくる原爆雲のつくられ方が、頑丈そうな原爆ドームの前の写真を見て、繰り返し原爆の恐ろしさを感じました。人を人でなくしてしまう7000°Cの少年、リトルボーイのような、そしてリトルボーイの何十倍もの破壊力をもつ核兵器は世界に今たくさんあります。でもどんなことかあっても、絶対にそのようなものを使ってはならないと思います。そのために、今回教えていただいたことも、次の世代へ伝えていくことが大事だと思います。



# 原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原子爆弾の威力が印象的でした。僕はこれまで、戦争はただの戦いだと思っていましたが、先生のお話を聞いて、戦争はとて生々しい物で、絶対に起きてはならないということを実感しました。

たった4秒のものが、一瞬にして何万人もの人を被爆させ、死亡させることは、とても恐ろしいことです。そして、そんな原子爆弾は使用してはいけないと思いました。

これから戦争がおきたためには、戦争のこゝろを後世に伝えていく必要があると思います。なので、僕も、戦争はいけないことだということを、ずっと覚えておきます。

そして、伝える機会があれば、伝えていきたいです。この授業で聞いたことは、一生頭の中に入れておきます。これからたくさん的小学校で授業をし、戦争のおそろしさを広めてください。

先日は、授業をしてください、ありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

ぼくの祖母も長崎で原爆を経験している。自由研究でくわしい話を聞いたことがあるので原爆先生の話をみじかな話として聞くことができた。また、去年は広島原爆記念館にも行った。

まずおどろいたのは被爆者数が24万人もいたことだ。調べたところ、これは文京区の人口より多い。街がしゃんとなくなるなんて想像できない。

つきに発する熱が7000℃で太陽よりも熱いことだ。(夏)は35℃で熱すぎるのに想像できない。

ぼくはサッカー選手になるという夢に向かってがんばっている。でも戦争中の人たちは夢をもつことができない。ぼくは平和な時代に生まれてきたよから。原爆先生に聞いた話をしっかりおぼえていきたいと思う。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特<sup>じゅこう</sup>別授業を受講して

表

今回は、原爆先生として授業をしてくださり、ありがとうございました。僕は、以前、広島市に住んでいたのので、町の名前を知っていたので、聞いていて、よく分かりました。今まで、広島や長崎の原爆投下について、深く考えたことがありませんでした。しかし、今回原爆先生のお話を聞いて、戦争、そして原爆について考えられました。また、知ることもしました。このことは、頭にやきついたことと思います。僕も、池田さんのように、後世へとこのことを伝えていけたらいいなと思いました。今回は、駕籠町小学校で、授業をしてくださって、本当に、ありがとうございました。また機会があれば、駕籠町小学校に来てください。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

土曜日にはありがとうございました。改めて、戦争はだめだと思いました。僕は原爆資料館の被爆者の人形が悲惨すぎるから展示をやめるとか言ってもめるニュースを聞いたことがあります。それでも養三さんが「きれいな」<sup>る</sup>といったなら、本物の被爆者は本当に可哀想だと思えました。僕が一番印象に残ったことは原爆の熱さです。表面温度は17000度だから、表面温度は太陽より熱いことがとても印象に残りました。ウラン1kgで17000度だから、全ての60kgが火然焼したら、日本が半分火然焼してもおかしくないと思えました。だから、原爆は糸田対に落としてはいけないと思えました。僕は60kgの中1kgしか火然焼しなかったのに、あれだけすごい威力をもつ原爆のことを糸田しく知れて本当に良かったです。原爆のことを糸田しく教えてくれて本当にありがとうございました。



原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

特別授業をしてくださり、どうもありがとうございました。私は、幼い頃に広島に住んでいました。原爆ドームで、どうろう流しをしたり、学校でもくとうをしたりしました。しかし、昔はなんのためにするのがわからないもので、めんどくさいと思っていました。先生の話を聞いて、そのようなことを思っていた自分は、なんてあつかなのかと思いました。先生の話しは、耳をふさぎたくなるような所もありました。しかし、これからの日本を支えていくがもしれない自分には、大切なものでした。だから、先生の言葉を一言も聴きのがさないように、聴きました。先生の話しは本当に心にひびきました。これからの日本は、きっと戦争の無い世の中にしていきます。



原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

11/29

戦争という物がどれだけのいけないことか、どれだけの悲しいものか改めて感じることを考えなおすことのきっかけとなりました。お話を聞いていて本当なのだろうか、うそではないかなどと耳をうたがうこともありました。しかしこのような戦争でたくさんの方が亡くなってしまったこと、悲しい、さみしい思いをしたのだと思うと失礼かもしれませんが今、平和な時に生きていられてよかったと何度も思っています。となりの女の子と顔を見合せておどろいたり、皮ふがとれてしまうなどということには二人で目を見ひらいたりもしていました。この授業で思ったことがあります。それは日本人自らがおこなったことが、自らを苦しめ、何の関係もない人々まで苦しみをあたえていることに情けないと思いました。今日はとっても貴重な話をして頂き、ありがとうございました。私はこのことを通して原爆ドームを見て見たい、きんかんを見て見たい、どれだけのものか本物よりも面白いものかもしれないけれど見てみたいと思いました。一生のあいだには一度でも行ってみたいと思います。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

今回は特別授業していただきありがとうございました。被爆者かどのようなつらさだったのか、痛さだったのかよく分かりました。原子爆弾の威力が想像以上でおとろきました。原爆先生のお父さんも実際に経験されているということを知り、大丈夫なのか心配になりました。しかし、無事ということを知り安心しました。原爆先生のお父さんはなくなりました。被爆者の魂を背追いなから生きているのだなと思いました。爆心地付近にいた人々はかろうじて生きていて、そのかろうじて生きていることがとれかけつらくて、苦しかった。想像するだけで心が痛みます。もう、戦争が終わってから70年がたちます。実際に戦争をした方もたんたんなくなっている頃です。このままでは、戦争のつらさや苦しさが分からなくなってしまうので、私たちがそのつらさや苦しみを後の世代に伝えていきたいと思っております。そして、もう二度と被爆者かでないような、戦争がおこらないような世の中をつくらせていきたいと思っております。私たちが被爆者、戦友の思いを受け継いでいきます。





名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

今回はこの学校に来てくださりありがとうございました。先生のお父さんが戦争を体験したということでお話をしてくださりました。私の祖母も戦争を体験して、しかし戦争の話をしてくれた事は一度もありません。ただ、「怖かった」としか聞いたことがありません。この授業を受けてみて戦争の悲惨さが改めて分かりました。原子爆弾のいりょくもすごくおどろきました。ひ爆者の方の説明も想像していたのよりもひどくおどろきました。この授業を通して、思ったよりも広島の実地はひどく戦争は絶対にしてはいけない物だと改めて実感しました。自分は戦争を体験していないから関係ないと興味を持たないのではなく、同じ日本人として他人事にしてはいけないと思いました。また祖母が戦争の体験を話してくれな理由も分かりました。今回は貴重な体験をお話して頂きありがとうございました。





# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

私は、原爆の話聞いたことがあまり無かった  
ので当時の人がどのような体験をしたのか  
など詳しい事が知れたので良かったです。  
原爆先生の言葉を聞いて、原子爆弾を落とす  
候補になったところが広島と、小倉、長崎に  
なっていた事は知っていましたが、横浜、  
新潟、京都もなっていた事は知りませんでした。  
そして、原爆が落ちる時、回転しながら、  
時速300km以上の速さで落ちてきたと聞いて  
びっくりしました。その原子爆弾が、太陽の  
温度よりも熱い7000℃というのにも  
びっくりしました。あと、原爆の映像から、  
人の体が全部はいのような黒い粉になっ  
てしまっているのを見て、原爆はとて  
もおそろしいものだと感じました。  
これからは戦争は絶対してはいけ  
ないことだと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

今日、お話を聞いて、私は、原爆はとてもおそろしい  
ものだということを改めて感じました。私が想像して  
いた世界よりはるかにつらく、苦しいものでした。  
まず、一番おどろいてしまったことは、爆発したとき  
の温度です。地面では3000℃もするのだとはじめて  
知り、ぼう然としてしまいました。

そして、被害にあった人がとても多く、とても悲しく  
なりました。

今日、お話を聞けてよかったと思いました。この  
機会では私は、いろいろなことを知ることができ、  
そして原爆の苦しさやおそろしさを感じるこ  
とができるからです。でも、なによりも一番伝授  
してもらったものは、「もう二度と、こんなことには  
なあって欲しくない」という気持ちです。私も聞いて  
いてそう思いました。なので私は、次の世代  
へとこの気持ちを伝えていきたいと思いま  
した。

今日は本当に来てくださり

ありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

僕が原爆先生の授業を受けて、  
思ったことは、前までは、兵士の方が  
命をかけて、戦かっていたので、危険な  
ことだと思っていました。ですが今回  
の授業を受けて、戦地へ行って、戦か  
ている兵士達の他に、人を救助する兵士  
達は、今にも死にそうなのや、やけて死人  
でしまった人、死臭がする人など、負傷  
者や死傷者を運んでいる兵士達は、感染症  
などの危険があるので、戦っている兵士  
も、人を救助している人も、命の危険  
にさらされていることを知りました。  
このことから、戦争なんて、二度と、や  
るはいけないし、おこってもほしくない  
です。もし、戦争を経験している人がせ  
くなくて、戦争がおこってしまったら、  
昔に悲しい戦争があったこと忘れても  
うすぐ、やめてほしいです。



じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

受けます。被爆者数が24万人ということに驚きました。また死者が、14万人ということにも驚きました。たった1つの原子爆弾でも、多くの人の命が奪われることに、恐怖を感じました。次に、爆発時の温度についてです。爆発時の温度は、爆発してから1200℃で燃焼して、7000℃、600℃離れた、地上でも、3000℃という高温に恐怖を感じました。人が一瞬でその場をなくなること、あと、爆発時のあの爆風、衝撃波などもおそろしかったです。だが、それが現実にあったと思うと、さらにおそろしいです。

今回の特別授業を受講してわかったことは、原爆の原因です。そして原爆は怖いものなのだと思います。特別授業を受講したことによって、怖さが増しました。今後、こういう「原子爆弾投下」というのは、やめてほしいと思います。

池田真徳さん、今回はおこにありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

私は今まで、原爆や戦争の事はよく知りませんでした。でしたがとても悲さんで、多くの人々が亡くなった事は知っていました。しかし、授業を受け、予想以上にさんくで、悲しい出来事かを実感する事ができました。特に私の印象に残った事は、上空600mの場所に太陽の表面温度、6000℃より1000℃も高い、7000℃の火の玉ができたという事です。私はこの事を聞いた時にすごくびっくりしました。表面温度、7000℃の火の玉が上空600mの場所に現れたら近くにいた人はいっしょんにして亡くなってしまいます。私はこの時、戦争はすごく怖く、とても恐るしい。だから、このような事実があったということも、決して忘れず、二度と同じ事をしてはいけません。他のにもこの授業からとても多くの事を学びました。これから先、戦争を体験した人達が、どんどん亡くなってしまおうと思います。しかしこの事実があった事を忘れず、私も戦争の事を伝えていきたいと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

私は原爆先生のお話を聞いて、おどろいたこと、印象に残ったことがたくさんあります。例えば、原子爆弾の温度です。直経約200mの円で中の温度が100万度、表面で7000度あると聞き、とてもおどろきました。太陽の表面温度は6000度なので、太陽よりも熱いなんてすごいと思うし、危ないと思いました。それは、太陽が上空600mの高さまで接近しているのと同じことだと聞き、声が出ないくらいおそろしいと思いました。他にも、ウランの重さ、1kgはゴルフボールぐらいの大きさなのに、広島町に何にも無くなってしまった聞き、このウランが1kg以上あったら、広島は、日本はどうなっていたのかと想像するだけでおそろしくなっていました。

私は今回、お話を聞いて、戦争は二度と起こしてはいけないと思いました。戦争は、多くの人が苦しみ、悲しみ、亡くなり、つらい思いをするということを、私は決して忘れません。そして、戦争が起きるのを防ぐことができる方法があるならば、私はぜひ、取り組みたいと思います。





名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

今日はとても勉強になりました。90分という長いのか短いのかわからなけれど時間でこんなにもたくさんの話を聞くことができて楽しかったです。原爆くんの話を聞ける機会など数少ない体験だったと思います。とくに心に残ったところは、問題のところで、難しい問題かというので、深く考えてしまいました。ゴルフボール1個がkgもあるかなんてすごいと思いました。でもゴルフボール1個の重さがまぶ分からなかつたので向とも言えなかつたけれど、ウラニがとにかくすごいことが分かりました。京都はなぜ落とされたかというところで、古くからの文化などが理由で落とされたかたななんて思っていたので、ちょっとおどろきました。これからこの話をもとに話すことなどが増えてくると思います。なので、とてもよい時間が取れたなと思いました。

ありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

# 原爆先生の特別授業を受講して

表

私はこれまで「原爆」という言葉についてニュース等を通じて何度も聞いたことがありました。そのため、原爆はおそろしいもの、二度と原爆が落とされてはいけないということをはた然と知っていました。しかし、原爆先生の話聞いて、実は何もわかっていなかったことに気づきました。原爆先生の説明は具体的な数字をたくさん使った客観的な説明と被害のむごさを伝えるための細かい説明でした。被害者数が29万人、死者数が14万人という数にもおどろきました。一瞬にして、2万人の人達が亡くなってしまったという話が大変印象に残りました。駕籠町小の全児童の100倍もの人達が一瞬にして亡くなってしまったということを考えると原爆の威力の大きさと、綿密に練られた投下計画を同じ人間が作ったことを考えるととてもおそろしく、悲しく思いました。一人でも多くの人達が原爆先生の効果的な説明を聞く機会に恵まれ、原爆のない世界、そして原爆被害に合われた人々にできるだけの支援がなされることを心から願っています。特別授業をしてくださりありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

原爆先生こと池田真徳さんの話は今まで戦争が遠い昔の本業に思っていた事をもう一度考えるきっかけとなった。

原爆がどのような物かも知らなかったし、原爆が落ちた時の事もあまり知らなかったため、戦争を浅く考えていたが、池田さんの話はとても深くて迫力があつた。

私はまだまた戦争の事を知らないけれども、第三次世界戦争をおこさない為にも、と戦争の事を知って他の国との交流を深めたいと思つた。

もし私が池田さんの立場だったら、お父さんが原爆をうけた事をショックに思うだけで、何もできなうと思つし、ましてお原爆の事について話すのは、とてもできない。でも、池田さんの話を聞いて、

池田さん、本当にありがとうございました。



# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

/

ぼくは原爆先生の授業を受けて、いろいろなことを学びました。原子爆弾のおそろしさ、それに巻き込まれた人たちの必死さ、数多くの「せいが出た時」の兵士の対応。その中で「思ったことがたくさんあります。中でも一番心に残ったのが、生きているのか、死んでいるのか、人間なのか、それとも人間じゃないのか、もはやそれすら分からない状況にまでおちいてしまった人を見て、分かることです。「グロイ」など「おそろしい」など「思います。末には、はいてしまう人もいるかもしれませんが、でも、そういう人だからこそ分かることがあります。しかし、そういうことを知らなかったからか、ぼくにはよくは分かりません。でも、「破壊無くして創想は無い」という言葉がありますが、別に破壊しなくても創れるものがある、ぼくはそう思います。それと同じで「原爆を落とさなくても...それで「せい」になら、人々のためにも、もう二度とそのようなことをさせたくない、もしもそれをぼくが決められたら、取り消しにして、学んだことを参考に世の中を平和にしたいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

ぼくは今回お話を聞いて戦争は止められない  
なと思いました。

なぜなら戦争はすごく悲しくて悲しいものだとお話を  
聞いて分かったからです。これからは戦争は  
ぜったいにしてほしくないです。

ぼくが今回おどろいたのは上空600mで7000℃  
をこえることです。太陽より1000℃も熱いものが上空  
600mにあると考えるとすごく被災されたかたが悲  
いそうです。

もしウラニウムを60Kの全部使っていたらたぶん日本全体  
がやけたいたのがなと思います。

広島<sup>の</sup>死亡率が40%と考えると5人2人が死んでし  
まっていた。そのななくせんの人が死んでしまってい  
るので戦争はやっぱりひどいです。

先生が話ししてくださった被爆されたかたのすがた  
は考えるだけで悲いそうです。

先日はありがとうございました。お元気で



原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今回はありがとうございました。私は戦争のことを勉強してたけれど広島の町がどうなってしまったのかはあまり知りませんでした。原爆ツトルボーイによつて広島の町が3000℃にまで上がることにおとろきました。そして人々がいっしょのうちに死んでしまうことを知るととてもおそろしい思いました。放射線をあびて原爆病にかかってしまった人や原爆で大けがをおた人がいまでも苦しんでいることも知りました。今回の特別授業を通して戦争でたくさんの人がなくなるというひびききがわかりました。そのような戦争を二度とおこさないようにしてたいです。そのためには特別授業で教えてもらった戦争のひびききを私が次の世代へと伝えていかなければいけない思いました。原爆ドームや歴史館に行つて実祭に見て絶対に忘れていかなければ伝え、世界が平和になり被爆者の旗原爆先生の話を忘れずに生活していきたいです。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

「わたし」の体験談を聞いて、原爆の恐ろしさを改めて知りました。たった一発で何万人も人の命をうばえるものが、この世に存在することにびっくりしました。「わたし」の見た広島が、どんなふうになったのか、被害がどれだけひどいものなのか、自分のことのようにおもえてきました。ぼくは、エノラ・ゲイの機長・チベット機長や亡くなられた方々が、あんなに悲しかったと思います。とくに子どもは一瞬にして夢を絶たれてしまったからです。そして、まだ後遺症に苦しむ人々がいる、これを知って、ぼくはつらくなりました。ぼくは、第二班隊員がどんなにつらい体験をして、どういつ気持ちになったのか、わかるような気がします。「わたし」の言った、「きれいすぎる」の意味がわかるような気がします。この悲劇を忘れないために、ぼくはがんばります。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

私は、あまり日本に住んでいなかったのですが、原爆については、去年日本に戻ってきた時にわかりました。原爆が落ちたということしか知らなかった私は、先生の授業を受けて、戦争、原爆のこわさがよくわかりました。私は、なぜ人間はこういうことをしたのか、よくわかりません。武力を使っても、なにも解決しない。ただ相手をけがさせるだけではないのかと思います。国と国の間でなにかいやなことがあるのだったら、話しあえばいいのではないかと思いました。また、戦争に行かされた人はとてもかわいそうだと思います。本当は、誰もそのような仕事をしたくないのに、戦争に行くととても苦しい思いをしたのだらうなと思いました。私は、今は戦争もなく、平和に過ごせてよかったです。私たちは、毎日楽しく過ごせているので、小さいことで文句を言える立ち場ではないかと思いました。戦争の時代にいた子どもたちは、これよりはるかにいやな思いをしてきて、たぐんてなくなっています。これからも、戦争がなくなり時代が続いてほしいと思いました。





名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

私が今日の話を聞いて、一番おどろいたことは、4七もあるような爆弾のた、た1kg、約ゴルフボール1つ分くらいの量が爆発しただけで、広島ヒロシマの町が壊滅してしまうということです。そのため、広島に落ちた原子力爆弾がとても恐しいということも、改めて感じました。原爆先生の話は、とても詳しく、実際に、人の様子をやって見せたりしてくれたので、想像しやすかったです。また、たびたびクイズを出しながら話していたので、楽しむこともできました。私の、いいおじいさんも、戦争に行ったそうなので、戦争の話は、たまにしてみらうけれど、原爆には、関わらなかつたので、新しく知ることや、今まで、「何でなんだろう」と思っていた疑問が解け、さらに、戦争や、広島、長崎の原爆について、調べていきたいと思いました。そして、原爆先生のように、次の世代へ、次の世代へと、戦争の恐しさ、悲しさ、それに、戦争は、糸色にやっではいけないと、伝えていこうと思います。



じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

1/28

今日は、私たちに原爆について考えてくださり  
 ありがとうございます。ほくが、この授業を受  
 けて思ったことは。まず、戦争は何かあっても  
 起こしてはならない。と、いうことです。  
 かつての日本は食べ物や石油などがなく、中国  
 などを武力でせいあつを行ってきました。終戦きあ  
 日をかえた日本は、このような事をまこしてはならな  
 い。という事をよく考えてほしいと思います。  
 また、池田先生に「原爆以上の兵器を各国が保有して  
 いる」ということをきいてほくは「戦争を、おこしては  
 ならない」ということを分かつているのに、そんな物を  
 持っているから戦争のじかんをしているようなものじや  
 ないか」と思っています。まじにそのような兵器はあてほ  
 しいと思います。また、今も原爆をかかたかたがいて、  
 今もなおくろしんでいる、という事をきり、せうたいに  
 あのようないげきを起こしてはならない、また起こさな  
 ために、何をすまげいのか、考えていきたいと思  
 います。ひがいにあかたかたのめいふくをいります。  
 今日は、色々、考えてくださりありがとうございます。



名前は裏面に記入してください

# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

11/28

私は祖父に戦争の話と何度が聞いたことがあります。祖父は静岡の方に住んでいた。ので大きな被害があったことについてはあまり聞いたことはありませんでした。

原爆のことについては8月6日と8月9日に爆弾が落とされたこと、すごく大きな被害があったことなどを少し知っていたくらいでした。「はたし」のゲン」という本を見ても、本当にこれが現実におこったことだとはとても信じがたかったです。今回の授業を受講して、戦争というものはとてつねに残酷なもので、ものすごく大勢の人が亡くなり、悲しい話の中、ハルに残りました。そして一番つらかったのが、とつぜん爆弾がおちて来て、たくさん命が一瞬にしてなくなってしまうということ。すくにはせくならなくて、ものすごく苦しんだ人がいたという話を池田義三さんから聞いて実感しました。これだけつらい話があったことと、この先も伝えていって戦争をなくしたいです。本当にありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

11/28

ぼくは体験談や資料の説明を聞いて一番心に残ったのはキノコ雲の出来方でした。あんなに雲が出来てまうほどの熱線があったということの例にでた東京スカイツリーの高さに太陽よりも熱い赤いかたまりがあったということと聞き今ではありえないことなのでおどろキとその時代に生きていた人々の辛さがよくわかりました。そして、ぼくはこの話を聞く前は自分一人がわかってあげればいいという考えから資料の死者数や死亡率などをみて原子爆弾は改しておそろしい物だと感じました。1974年にノーベル平和賞を受賞した佐藤栄作さんが出した非核三原則はちゃんと守ることをぼくたちがこの経験を生かして後世に伝えていければいいと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

1/28

土曜日の原爆先生の特別授業を受講して思ったことは、ほくも原爆ドームを見たことがあつて、すごい悲しい出来事があつたとは矢口。ていつたのですが、実際に聞いてみたら自分が想像していったことより、さらにひどいので、同じ人間なのにどうして、攻めきするのだろうか、と考えています。武力で支配しても支配された人達はよろこぶはずがないのに、武力で支配する人達は、どういう考え方をもっているのだろうと思います。当時でさえ、広島市の人達がたくさん亡つたのに、今の技術で、たとひ広島市どころか地球がこわれてしまふのではないかと心配していると、ともに保有している国はどれだけのけおそろしいものをもつて、しているか自覚してほしいです。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

11/28

まず、今回の授業で一番心に残ったのは、原爆の悲しさとして、死体を処理したという池田義三さんのお話です。原爆が落ちた直後、放射線、衝撃波、熱線等の人体への被害が起きて、人の形があとをともなくなってしまうということに衝撃を受けました。ぼくは、広島原爆資料館へ行き、うごきまなめ鏡に写っている人形を見て、十分、原爆の悲しさがかかっていると感じました。しかし、原爆先生のお話を聞いて、また、義三さんの「心ががきぬいすぎる」という言葉を聞き、自分は少しも理解していなかったと感じました。原爆を人類が生み出した最悪のものだと思います。広島、長崎の原爆で世なくなれた人たちの冥福を祈ると共に、二度とこんなことがないよう、将来の世界の平和について、早く改めて考えなおしてほしいと思います。



原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

名前は表面に記入してください

1/28

僕がおどろいたところがあります。それは、チベット大佐とエノラ・ガイの関係です。エノラ・ガイがチベット大佐の母さんということでした。エノラ・ガイの関係は、まだありました。B29爆撃機エノラ・ガイが重士4人で3.12mの長さをもつ原爆「リトルボーイ(少年)」をのせて、投下されたことの関係です。それに乗って「リトルボーイ(少年)」を投下するように指令出したのがチベット大佐だったということにも、びっくりしました。そして一番びっくりをしたのが(発見したことが)候補になった都市が六都市あったことです。僕は、もう一つ「リトルボーイ(少年)」のことについて分かったことがあります。それは7000度から6000mはなれていたのに、3000度の熱で、広島県産業奨励館上の方が全てなくなっていたほどです。そして、それが原爆ドームとなった。1kg、60kgのウランの内1kgで、町を空襲で焼き飛ばされたので、60kgだったと都道府県全部とそれ以上かもしれないけど、1kgでこんなたしウランは、原爆病という名の病気でまためでありためて、戦うこと、争うことは、やめるべきです。僕は、そう願っています。僕は、このことで、戦争を反対して、また、です。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

1/28

戦争は、今の人が作ったようなてんじ物のよ  
うな物ではなくもっとも、とひさんだ。たと思  
う。空から7000℃の熱線が落ちてきて人は  
一瞬で灰になってしまいます。肉がさび  
れている人や、砕かれている人など、もした  
そうです。兵士の人はその人たちを助けて  
あげようとして、たが、肉がたたれている人は  
どこかの上などで引き上げられません。  
そして、川の氷などは、いきにあつくなり中  
に入った人は、ゆでダコのようになり、ひざをか  
かえたりしてしんでしまうそうです。  
私はこの話を聞いて、14万人も死んでしま  
うとしても、ひさんで、きぼろがなくなるような戦争  
は、これから私たちは、忘れないうで、死んでい  
た人に、ちゃんともくとうしようと思ひました。  
そして、これから生まれる子たちに戦争のことを  
おしえてあげたいと思ひました。





名前は裏面に記入してください

# 原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

私は、前々から戦争に興味がありました。原爆先生のお話を聞けて、すごく嬉しかったです。

塾で聞いたことだけでなく、地上何処の所で爆発したかなど、中心の熱さ、広島に落ちた原子爆弾の名前など、知らないこともたくさん知りました。

私は今まで、原爆をそんなに重視していませんでしたが、原爆先生のお話を聞いて、戦死した方々に感謝し、また、犠牲になってしまった方々を悼む心を忘れず、いように日々を過ごしたいと思いました。

最後のビデオで、原爆先生のお父さんがコメントしていた時に、戦後六十年以上経っても、思い出したり泣いてしまう程、残酷だったのだなと思いました。

もう戦後70年が経ち、戦争体験者も少なくなっていくことに、悲しく思います。この授業を聞いて、もうこんな悲しい事は二度とあってほしくないと思いました。



原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

1/28

原爆先生、今日は貴重なお話を聞かしていただきありがとうございます。  
 ぼくはお話を聞いて普段ならば「遠いところで起きたことだし、昔のことなので大変そうだった」ということしか思わないのですが、今回初めて思っていた以上に大変だったということがわかりました。  
 それと原爆に入っていたウラン60kgのうち1kgに燃えていなかったということです。ウラン1kgで広島県がお話してもらったようになったのに残りの59kgももえてしまったらどうなっていたかということも疑問に思っています。  
 ぼくは今まで戦争を体験してこないので戦争は何かあっておしまえばいいなと思っていました。そして原爆でないなら落としても良いというのではなく水爆も落ちることかなんかのようになると良いなと思えます。  
 ぼくは大人になった時に戦争を絶対にやろうと思わない人になりたいです。



名前は裏面に記入してください

じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

11/28

先日は「原爆先生」として、特別授業をして下さり、本当に有難うございました。私は「戦争」「原爆」という言葉を学校や塾の授業で耳にしたことはあっても、身の回りで話を聞いたりしたことはなかったので、そのようなことを身近に感じたことがありませんでした。しかし今回、先生のお父様である、故池田義三さんの実体験を聞き、戦争と原爆の本当の姿を知りました。原爆は、たくさんの犠牲者を出すだけでなく、たくさんの被爆者も出してしまふ。そして、原爆が落とされてから長い年月が経った今でも、「原爆病」に苦しむ人々がいるということ。それを改めて知りました。後で父から聞いて知ったのですが、父の親戚には、広島で実際に原爆にあつた人がいたのだそうです。その人は、衝撃波で水たまりに落ち、奇跡的に命が助かったそうです。今回の授業で、私は、今まであまり身近に感じる事のなかつた広島原爆について、知ることができました。そして、70年もの間、このようなことがなかつた日本を、また戦争の惨禍にもう二度と巻き込んでほらなうと、強く思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

11 / 28

今日は原爆<sup>日</sup>についてお話して下さいありがとうございました。私は、原爆の事を、「ふたりのイーダ」という本を読んで知っていましたが、今日のお話を聴いて、原爆の恐しさを改めて知りました。「ふたりのイーダ」では、原爆が落ちた時2才だった女の子が出てきます。その人は、原爆で、両親をなくしました。そういう子ども達は、たくさんいたと思います。そして、池田義三さんは町をさまよう人々も、けがをして困っていた人々も、助けたのでもって偉大だと思います。死体を運ぶ仕事も、池田さんのお話にもあつたように、とても苦痛だと思ひます。私は、その時の気持ちを想像しましたが、それは、とても悲しく、絶望的なものでした。私はこの特別授業を通じて、戦争をして原爆の投下はもう二度とくりかえしてはならないと改めて実感しました。戦争の犠牲になるのは、何の罪のない国民です。原爆も犠牲になつたのは、広島に住んでいた人々、あるいは、たまたま広島に住んだ人ばかりでした。だから、私は平和を願ひます。日本国民、そして世界中の人々が幸せな毎日を送れるようにしたいです。今日はありがとうございました。これからもお体にお気をつけて下さい。



じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

1/8

今日、原爆先生の特別授業を受講して、まず、私は泣きそうになりました。なぜなら、爆心地の近くにいた人は、あと何人もなく、その場にいたと分かるかげのようになどしか残らなかつたのが一つで、戦争は終わって、広島は復興したのに、未だに原爆で苦しんでいる人がいたからです。私は戦争が終わった後に生まれて平和な世界で生きていても幸せです。祖父はやりたくもない戦争でシベリアに抑留されてしまいました。

戦争で原爆を使い、何の罪もない市民に大きな熱傷や放射線物質による何世代にもわたる被害を負わせたことがとても悲しいです。戦争が起きなければ熱傷も、何世代にもわたる被害も負わなくて済んだかもしれません。そんな戦争は大きらいで、二度と原爆を作らず、作らせないようにしたいです。ありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

11/28

僕が初めて知ったことは、3つあります。1つめは、原子爆弾投下の候補都市に京都、横浜、新潟も入っていたことです。広島と、小倉、長崎の3つは知っていましたが、6つあるとは知りませんでした。2つ目は、原子爆弾の投下目標が、相生橋という少し珍しい橋だったこと。僕は元広島県産業奨励館(現原爆ドーム)だと思っていました。3つ目は、ゴルフボール程度の大きさの原子爆弾の原料「ウラン」を、60kg持つていたのに、1kgしか燃焼しなかったことです。1kg燃焼しただけでもあんなに燃えたのに、60kg全部燃えるとどうなってしまうのか、想像するだけでぞくぞくします。授業の中で一番びっくりしたことは、原子爆弾「リトルボーイ」を載せた「エノラガイ」という飛行機が、チバット大佐の母の名前だったことです。僕は、人の名前ではなく、会社の名前や、原子爆弾と似ている名前とと思いました。この授業では意外でとてもびっくりした事、初めて知った事が沢山あり、学んだことがとても多くて、二度と戦争はしたくないと思いました。



原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

11/28

今日は、本当にありがとうございました。ぼくは今までも、原爆はひさんなんだなど軽い気持ちでいました。そして夏に行なわれるいれいしきでは、つまらないと思っていました。しかし、今日、原爆先生のお話を聞いて、原爆は本当にひさんでも、今でも多くの人々がくるしんで生活している事を知りました。これからは今日お話ししてくれた事を忘れずに、毎年のようにいれいしきをテレビで最初から最後まで見ます。そして、大人になたら、広島に行き、いれいしきを見に行きたいです。その後は、身近な子供お大人など、多くの人々に、原爆で悲しみ、くるしんでいる人がいる事を精一杯の努力をして伝えて行きたいです。今はとくに首相が単戔争する方向に、日本を動かしているのでも、原爆のひげきを、また、多くの人々が体験することになり、平和がとぎれてしまっています。なので、平和記念館を80,90年代から



原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

11/28

原爆のおそろしさやこわさをあらためし知ることができました。また原爆の真実を知ることができました。ぼくは「はだしのゲン」を読書会で読んでいたのですが途中でこわくなってしまいました。ですが、興味を持って色々な情報を集めました。4年生のころだったので少しトラウマになってしまいました。原爆先生から教えていただいたおかげでその情報も正しいのかも正しくないのかも考えることができた。いままで知らなかったことを知ることができました。私の祖母と祖父は単戦争経験者なのでまた今度あったときに話を聞いてみたいと思います。戦後70年になり、単戦争を知っている人はみなおそろいおとしりです。だから、今のうちに、たくさん戦争のことを聞きたいと思います。そして、それを次の世代に伝え二度と同じことが起きないように努力していきます。その意志を持たせてくれたのは特別授業のおかげです。授業ありがとうございました。平和に感言身付して生きていきます。





名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

1/28

私が一番印象に残ったことは、原爆投下から70年を経てもまだ苦しんでいる人達がいるということです。ただの爆弾ではなく、核という、計り知れない影響をおよぼすものの恐ろけを感じました。そして、戦後70年が経って、実体験で原爆を知っている人が減ってきていますが、人々が絶対に忘れてはいけなものであり、風化させてはいけなと思いました。もっとも、と沢山の大人や子供達が、この授業を受けて、少しでも広島、長崎のことを考える時間を作らなければならないと強く感じました。

今回の特別授業を受講して、いつか原爆ドーム、原爆資料館を訪れたいと思いました。

もっと自分なりに調べたり、大人に話を聞いたりと学び続けていきたいです。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

11/28

ぼくは、広島<sup>の</sup>平和記念館<sup>に</sup>行ったことがありますが、あの<sup>人</sup>開<sup>け</sup>て「キレイすぎる」と義三さんは、おっしゃっていたということは、想像がつかないほどすごいのだと思いました。そしてあんなにすごいばくはつだったのに、<sup>も</sup>関わらず、ウラン<sup>も</sup>くま<sup>し</sup>が、<sup>も</sup>燃<sup>や</sup>焼<sup>して</sup>い<sup>な</sup>い、<sup>な</sup>ん<sup>て</sup>60<sup>kg</sup>全部<sup>も</sup>燃<sup>や</sup>焼<sup>した</sup>ら<sup>ど</sup>う<sup>な</sup>って<sup>い</sup>た<sup>こ</sup>と<sup>か</sup>…。あと原子力爆弾の1000倍以上の力を持った核兵器を塾の先生から教えてもらったことがあるのですが、その名は、「水素爆弾」というものらしいのです。水素爆弾は、原子力よりも3000倍以上と言っていたような気がする。でも、水素爆弾を4個おいたら日本は終わるらしいです。二度と核爆弾を使わないように世界に今まで以上に発し<sup>し</sup>て<sup>い</sup>きたいです。きのこ雲のでき方は分からなかったけれど、今までにならったことで出来るということがわかりました。特に進行が光の速さが音速(マッハ1)を超越するなんです。授業を受けたことにより、原爆のことについての関心が深まって本当に良い一日でした。



# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

1/8

私は、原爆先生の授業をきいて、「リトル  
ボーイ」の長士や重士、候補となった  
都市なじのいろいろなことを初めて  
知りました。そして原爆のことをく  
わしく教えてもらって原爆はすごく  
大きな力をもっていて、今の時代  
にはさらに強い威力の爆弾が  
あることをきいてそれを悪用してほ  
しくならないと思いました。

後、原爆先生のお父さんが書いた本  
の一部をきいて、人間の姿ではな  
くなった人が多くいたことは今で  
は考えられないくらいひどい  
ことだと思いました。

それに比べて今の私たちの生活は  
とても幸せだと思いました。  
だから、このままずっと戦争がおこ  
らずに平和な世界でいてほしい  
なと思いました。